

第 90 回 ここからカフェ九品仏

クリスマス会

手話ダンス・ピアノ演奏・コーラス・手遊び
オカリナ演奏など盛りだくさん
楽しい時間を入居のみなさまとともに
楽しみましょう

日時：2025 年12月 20 日（土）

13:30 ～ 15:30

会場：チャームプレミア田園調布

東京都世田谷区玉川田園調布1-9-10

参加費：300 円 ※要予約

申込・問合せ：090-3961-8514

（ここからカフェ九品仏 湯澤）

第 116 回 お隣さまお茶会

いろどりサロン

ピアノの調べと共に、心も体も”いきいき”と。
2025 年の話題を振り返りながら、昔懐かしい
歌で喉を潤し頭と身体を心地よく動かしていま
しょう

講師：柳澤寿江さん

笑顔と元気が咲きほこる、ゆったりとした
優雅な時間をお楽しみください

日時：2025 年 12 月15 日（月）

13:30 ～ 15:30

会場：チャームプレミア田園調布

東京都世田谷区玉川田園調布1-9-10

参加費：500 円 ※要予約

申込・問合せ 03-3721-8699

玉川まちづくりハウス

第 59 回 玉田シニアサロン

田園調布 100 周年事業について
田園調布会会長 大高英昭さん

日時：2025 年 12 月14 日（日）

14:00 ～ 16:00

会場：玉川田園調布会館

東京都世田谷区玉川田園調布 1-9-12

参加費：500 円 ※要予約

申込・問合せ 03-3721-8699

玉川まちづくりハウス

ハウスの会員数

特別正会員 5 名
正会員 28 名
ニュース会員 58 名

12 月号にかかわったひと

伊藤雅春 染野和夫
高橋阿貴 小西玲子
柴田希美絵 池田麻未
昆野敬子

11

ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細は HP <https://tamamati.com/> にてご確認ください

5 日（水）

6 日（木）

10 日（月）

13 日（木）

14 日（金）

15 日（土）

16 日（日）

18 日（火）

27 日（木）

プレーリヤカーでの公園遊び / 奥沢（タイヤ）公園

楽多の会定例会 / デイホーム玉川田園調布

お隣さまお茶会 / スペースえんがわ inn

住宅まちづくり総合相談 / 世田谷総合支所

住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所

玉川まちづくりハウス定例運営委員会 / スペースえんがわ inn

ここからカフェ九品仏 / 九品仏複合施設 2 階

タマデンマルシェ / アビターレ前（玉田 1-13-1）

プレーリヤカーでの公園遊び / ねこじゃらし公園

住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所



12

ハウスカレンダー

3 日（水）

4 日（木）

8 日（月）

11 日（木）

12 日（金）

14 日（日）

15 日（月）

16 日（火）

20 日（土）

21 日（日）

25 日（木）

プレーリヤカーでの公園遊び

10:00 ～ 12:30

奥沢（タイヤ）公園

楽多の会定例会

10:00 ～ 12:00

奥沢地区会館料理講習室

住宅まちづくり総合相談

13:30 ～ 15:30

世田谷総合支所

住宅まちづくり総合相談

13:30 ～ 15:00

玉川総合支所

玉川まちづくりハウス定例運営委員会

9:30 ～ 11:00

スペースえんがわ inn

玉川まちづくりハウス総会

11:00 ～ 12:00

スペースえんがわ inn

玉田シニアサロン

14:00 ～ 16:00

玉川田園調布会館

お隣さまお茶会

13:30 ～ 15:30

チャームプレミア田園調布

プレーリヤカーでの公園遊び

10:00 ～ 12:30

ねこじゃらし公園

ここからカフェ九品仏

13:30 ～ 15:30

チャームプレミア田園調布

タマデンマルシェ

11:00 ～ 15:00

アビターレ前（玉田 1-13-1）

住宅まちづくり総合相談

13:30 ～ 15:00

玉川総合支所



玉川まちづくりハウスニュース

みんなでホイッ！

12
2025

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085

東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10

Email house@tamamati.com

tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986

URL <https://tamamati.com>

10 月 12 日（日）「つながる街角祭り」を開催しました。 午後の部その2

午後は、参加団体による各種相談コーナーなど、その前半については 11 月号で報告しました。その続きです。

奥沢 6 丁目で、野菜作りを通じて、地域との交流を図ることを目的としているとまりぎ菜園の臼井さんが活動をアピール。とまりぎ菜園は、世田谷市民活動推進課の生涯現役ネットワークの一員、地域デビューの会の活動です。日曜日の午前 9：30～11：30 に開園し、作業の後、おしゃべりの時間を設けています。定年退職などをきっかけに「地域で何かやってみたい」と思ったものの、どのような活動があるのか、どうやって自分にあった活動を探せばいいのか、迷われている方、特に男性の方は、ぜひ臼井さんに相談してみてはいかがでしょうか。地域に出て活動することが元気につながるお手本です。



とまりぎ菜園臼井さん

美容室への外出が困難な方のために、美容師が自宅や介護施設、病院などに訪問してヘアカットやカラー、パーマなどの美容サービスを提供するお出かけ美容院をはじめ、nie（ニーエ）も参加、ヘッドスパを体験した方はみなさん満足してくださったようです。高齢、障がいばかりでなくケガや、小さいお子さんがいて出にくい方もぜひ利用してみてください。



お出かけ美容院 ヘッドマッサージ

『街角保健室』は誰かと話したい時、一息つきたい時に立ち寄れる空間を目指し、各団体が取り組んでいます。これからも活動にとりくんでいきます。よろしく願いいたします。

～午後のプログラム～

参加団体による各種相談コーナー

体力測定 歩行測定 お出かけ美容院

栄養相談 相続相談 介護健康相談

みんなでつくる街角コンサート

日丸真さん（ふくろうクリニック等々力

音楽療法士）



プログラム最後は、「みんなでつくる街角コンサート」音楽を聴いて心が落ち着いたり、演奏してストレスを発散させたりすることは誰でも経験していると思いますが、ふくろうクリニック等々力の音楽療法士、日丸さんのリードで大きく口を開けて歌ったり、リズムを取って手足を動かしたりは、確かに人を笑顔にし、リラックスした雰囲気に導いてくれました。



公益信託世田谷まちづくりファンド終了と都市計画学会石川賞受賞

32 年続いていた、「公益信託世田谷まちづくりファンド」が、2025 年度をもって終了するという知らせはずいぶん前から知っていました。

このタイミングで、「公益信託世田谷まちづくりファンド」が日本都市計画学会賞石川賞受賞を受賞した世言うニュースも飛び込んできました。

石川賞は都市計画に関する業績により、都市計画の進歩、発展に 貢献をした個人または団体を対象とする賞で、実は、玉川まちづくりハウスの生みの親ともいえる林泰義さんも 1997 年に受賞しています。

この世田谷まちづくりファンドの構想は、玉川まちづくりハウスが活動を始める契機ともなった仕組みで、まちづくりをやってみようという個人、団体を支援をしていこうと 1992 年、公益信託制度を用いて設立された基金でした。このファンドに応募した件数は、30 年間（2022 年まで）で延べ 1084 件、助成件数は 866 件にのぼり、助成金総額は約 2 億 3800 万円、助成対象は延べ 433 グループにもなったと聞いて感慨深いものがありました。

11 月 5 日（水）まちづくりファンド石川賞受賞報告会が、北沢タウンホールスカイサロンで開催されました。当日は、歴代の運営委員、助成を受けた団体など、ファンド関係者が集まりました。30 年以上経過しているとは思えないみなさ

んの変わらぬ若い姿に驚き、これまでの歩みを振り返りつつ、あんなこともあった、こんなこともあった、今は何をしていると、会場のあちこちで談笑する姿が見られる和やかな会でした。

市民活動を応援する仕組みは、全国各地にも見られますが、授賞理由にも、単に資金を助成するだけではなく、「世田谷トラストまちづくり」が活動を見守ること、行政と区民だけではなく、企業の寄付も受け付ける仕組みとなっていること、運営にファンドの卒業生が複数関与し、活動団体への伴走支援をファンド運営委員会や当財団が担い、自分たちの活動に留まらず、世田谷だけでない、まち全体のまちづくりに関わっていく人財を見出していることが評価につながったとあり、ファンドをここまで続け、市民自治の芽を育ててきたことを評価されているのだと思いました。

世田谷まちづくりファンドは終了しますが、新しく（一財）世田谷トラストまちづくりが、主体となり、「世田谷トラストまちづくり活動助成事業」が始まり、これまでの公開審査会などはそのまま、新しい試みもなされています。期待して見守りたいし、世田谷区のまちづくりのこれからの広がりをみなさんにも知っていただくために、玉川まちづくりハウスの活動も、もう少し続けていかなくてはと考えています。



地域 gayagaya 染野さんのこと

地域 gayagaya で地域の歴史についてずっと寄稿してくださったいる染野和夫さんから、右のようなコメントをいただきました。

玉川まちづくりハウスは、ご厚意に甘えっぱなしで 3 年間も書いていただいていたのだと、あらためて心から感謝いたします。

このコーナーを楽しみにしていただいている方も多く、小さな冊子にまとめて、みなさんにお届けできるようにしたい、またあらためて、染野さんを囲む会もしたい…と考えています。

今や染野さんは歴史散策等、世田谷のあちこちで、講師として引っ張りだこで、お時間がないかもしれないのですが、ぜひ実現させたいです。染野さんもうしばらくよろしくお願いいたします。

歴史を辿る・その (35) の数字を書いて、改めてよく続いたな！との感慨と、一人でこんなに続けていいのだろうか、という気持ちが生じています。令和 4 年 10 号の原稿依頼から寄稿させていただき、地域の歴史について紹介してまいりましたが、原稿を書く中で自分自身も勉強しながら三年間でした。

暮らしのつぎやき 2025 年 12 月



AI と話す

AI とやり取りしながら仕事を進める機会が増えてきました。その度に萩尾望都の「銀の三角」という SF 漫画のシーンが頭を過ぎります。主人公が、家の管理をしているコンシェルジュのようなコンピュータに「あるメロディ」を探すようお願いする場面で、コンピュータが「存在するかどうかはわからない羊飼いの鼻唄を探せて？」と反抗的な返事をしていて印象的でした。AI が相棒になる社会はどんなものになるのでしょうか。

玉川まちづくりハウスニュース



レンタル電動自転車

引っ越してからレンタル電動自転車をよく使っています。30 分 160 円からで、アプリで手軽に予約できて、支払いも簡単なので買い物などに便利です。今まで知らなかった場所にもステーションがあることがわかって、電車じゃなくて自転車で行ってみようかなと思うことも増えました。

日差しや暑さを気にしなくていい季節に、たくさん活用しようと思います。

地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただいて紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る

その 35

奥沢地誌保存会・染野和夫



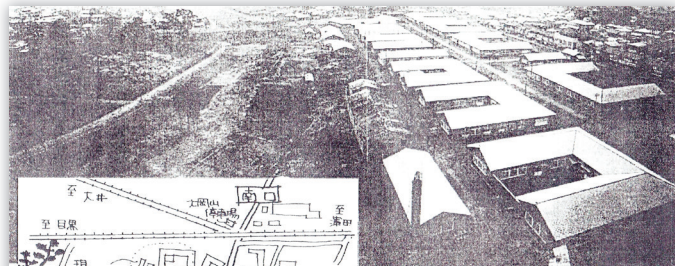
蔵前の東京高等工業学校本館

第 35 回 「東京科学大学の誕生の歴史」について

今回のテーマは「東京科学大学」です。奥沢に住む私としては「東京工大、又は工大」の呼び方がしっくり来る大学ですが、近年新たな名称に変更となりました。この学校の歴史についてのお話しです。

本校の歴史は、明治 14 年 (1881) 5 月に東京職工学校が設立されたことで始まります。同校は明治政府の積極的な保護を受けて創設されました。欧米列強諸国に追いつくためには実業教育の工業教育機関設置が求められており、同校は主に製造現場および工業教育の指導者養成を目的とし、化学工芸科及び機械工芸科の 2 科でスタートしました。その後、明治 23 年 (1890)3 月、職工という名前が工業指導者養成にそぐわないとして東京工業学校へと改称されました。この頃から実務のみの専門学校的な教育機関から高等専門教育へと発展させる動きが出てきています。

そして明治 34 年 (1901)5 月、東京高等工業学校と改称、この後高等専門教育機関からは学校の所在地から長い間「蔵前」と呼ばれるようになります。



大正 13 年関東大震災に遭い、大岡山に移転。昭和 3 年北口に仮校舎を建てた東工大

東京工業大学・大岡山仮校舎校



東京科学大学・湯島キャンパス

昭和 4 年 (1929)4 月、東京工業大学 (旧制) へと念願の大学昇格を果たします。蔵前、一橋と並び称されてきた東京高等商業学校 (現・一橋大学、当初は東京商科大学) に遅れること 9 年での大学昇格でしたが、最先端の研究を行う官立大学としての新たな出発でもありました。

昭和 9 年 (1934)8 月には時計塔が有名な大学本館が竣工。戦後の昭和 24 年 (1949)5 月に新制大学に移行。以後も拡充を続け、昭和 50 年 (1975) に長津田キャンパス (現在のすずかけ台キャンパス) を開設。

平成 30 年 (2018)3 月、指定国立大学法人に指定 (令和 3 年 11 月現在全国 10 大学が指定) されました。令和 6 年 (2024)10 月に名称を「東京科学大学」に改称し、東京医科歯科大学を統合しての新大学が発足しました。『科学の進歩』と『人々の幸せ』とを探究し、社会とともに新たな価値を創造する」をミッションに掲げ、両大学のこれまでの伝統と先進性を生かしながら新しい大学の在り方を創出する、としています。



クリスマス準備

ハロウィンが終わると、街があっという間にクリスマスカラーになります。赤と緑と白、金色。リースやリボンや様々なモチーフ。今年は引っ越しでインテリア系の SNS を見ていたこともあって、余計にそう感じたのかもしれません。

筋トレしているサンタさんなど、ちょっとおどけたオーナメントがあったりして、毎年色んな流行りがあるなあと感じます。



落ち葉の布団

久しぶりに九品仏浄真寺に行き、きれいに紅葉した境内の中を散歩しました。

明るい茶色のフカフカの落ち葉の中に溶け込むように、同じく明るい茶色の猫が丸まって一匹寝ていて、周りの人たちが「寒くないの？」と心配しながら、かわいいその姿の写真を撮っていました。

乾いたフカフカの落ち葉の寝床は気持ちが良さそうで、秋のよい思い出になりました。(貴)

玉川まちづくりハウスニュース